Ō の高

新校舎が着々と完成

と移行できるようにした。 2クラス制にすることで、 クラスは固定したままだった。に移行することができたが、歴 「進学クラス」から「選抜進学クラス\_ ラスで、基準をクリアすれば2年次に抜進学クラス」「進学クラス」の3クまで普通科は「特別進学クラス」「選 「総合進学クラス」 るエ 葉商科大学 付属高等学校。 の2クラスに改編 特進選抜 特進選抜へた。それを、特別進学

「高校生の学力はいつ伸びるかわか「高校生の学力はいつ伸びるかわかりません。高校に入ってから勉強が面白くなってくるとグングン伸びてきます。意欲のある生徒がさらに上を目指せる場所をつくることが、コース改編せる場所をつけるとで、よりチャレンジしやすくする。ことで、よりチャレンジしやすくする。ことで、よりチャレンジしやすくする。ことで、よりチャレンジしやすくする。 入試対策や小論文、キャリア教育など全員参加する予定だが、2、3年生は1年生は勉強習慣を身につけるために1年生は勉強習慣を身につけるためにまた土曜授業は「土曜講座」に変更。

今年の春の卒業生は国公立大学に合名合格と大躍進。「近年の中では非常に良い結果となりました。これは生徒をはじめ、教科・担任の先生たちも頑張った成果だと思います」と浅川校頑張った成果だと思います」と浅川校 の講座を受講する。

浅川潤一校長にインタビューした。

に改編。基準を満たした生徒は、2年次に特進選抜へと移行でき るようにする。逆に「特進選抜クラス」から「総合進学クラス」 にも移行可能とする。

ンセプトは『未来・地域・生徒同士が「つながる」校 こうスや階段ラヴンジなど、生徒同士が交流できる。 州意されている

校舎での学びが始まる千葉商科大学付属高等学校

また「実学」をキーワードに、高大連携もさらに進化。共通の 教育ビジョンを策定し、同じベクトルを向いての高大一貫教育が さらに加速する。校長に就任して3年目、変化の歩みを止めない

新校舎建設の一期工事が終了し、いよいよ2021年9月から新

来年度から普通科を「特進選抜クラス」と「総合進学クラス」

## 「企業の困りごとを解決する」をテーマに、お 弁当開発に取り組んだ商業科の生徒の皆

先生と共同でSDG **俊の大きなアド** 一貫教育の高校 らに取 商業科の生徒が地域企業とコラ ボして開発したお弁当。ZOZOマ リンスタジアムで販売されている

またでであります。またでは、

千葉商科大学商経学部3年の時に、視野に入れています」と浅川校長。成のプログラムにつなげていくことも

「金融リテラシー教育」高大連携で実学を学ぶ

\_攻めの高大連携\_

(現す

学に進学し、会計士あるいは税理士育っています。最終的には、千葉商科大の基礎部分を高校で学んでほしいと思は回っているのかという、リテラシーは回っているのかという、リテラシーけの話ではなく、どのようにして経済

**入学との高大連携はさらに加** を実 す」と浅川校長は嬉しそうに話してい教員もワクワクしながら待っていま

あります。新校舎に移る日を、生徒も「新校舎の魅力はまだまだいっぱい

この5つのビジョン育成を図る。

■豊かな人間性と教養を備えた人材の

なるのは「実学

なかでも

「金融リ

ŋ

めていこうと考えている。テラシー教育」を大学の力を借りて進

「金融といっても、

部分を高交でではなく、どのようにして経済ではなく、どのようにして経済のようにものようにものようにものようにものといる。

と進んでいる。

■グローバルな視点を持って、様々なできる人材の育成を図る。

■社会と連携した実学教育を基本とし、

育成を図る

課題に取り組むことのできる、

人材の

を持ち、高校時代に日商簿記3級を取られば同校の普通科出身。高校2年のさんは同校の普通科出身。高校2年の公認会計士の試験に合格した山口晴天 が選択できることです。現在はオール本校の強みは地歴公民と並んで、簿記が彼の転機になったのだと思います。 ろうとしていることを、先駆けて実践「山口君は、まさにこれから本校がや続け、公認会計士の資格を取得した。 日商簿記1級に合格。その後も勉強を 大学1年で日商簿記2級、2年で5、高校時代に日商簿記3級を取 普通科に んだこと 簿記 商科大学の先生と共 での学びが、大学等 バンテージになりよ 留まらず 企業と共同開発市川道の駅で和菓子を球場で販売するお弁当を 番大事」 国際教育にお Lなります」と浅川校長は大学進学後の大きなアド

地域の発展に資する人材の育成の一人々と、協働して課題を解決している。連携し、異なる価値観や文化を持つ 」とも話す浅川校長。大学と、世界的な視点を持つことが教育においては語学の修得に

■校 長 浅川 潤一 ■住 所 〒272-0835

浅川 潤一 校長

記、ITパスポー

在籍しながら授業で簿記を学 してくれました。高校の時、ろうとしていることを、先見

きる講座を開いている。望する生徒に建築現場を見学などがで

築スクールプロジェクト」を実施。希にも生かそうと、同校では「新校舎建新校舎建設という貴重な機会を学び は竣工予定だ が完成するのは、2022の新校舎に移る生徒たち。 2023年で5月に う。すべらから バて校舎

生徒も校舎建設に携わる魅力あふれる新校舎

沿革を紹介するコー さらに新校舎内に設置する、 は、 生徒たち

とつないで、双方向の授業も展開でき を書いた。生徒が所持するiPad を発達設に携わっている。 を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達したが、対している。 を始まして、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達して、教室には黒板ではなく を発達している。

子「八矢庵」様と共同開発した Rice 業の困りごとを解決する」というテーマで、弁当店を運営する株式会社ほそや様と共同で商品開発に取り組んだ。開発したのは、ZOZOマリンスタジアムで販売するお弁当2種類。市場ジアムで販売するお弁当2種類。市場込んだりと工夫を重ねた。また、和菓込んだりと工夫を重ねた。また、和菓 高業科では2020年度「企

するなど「未来の学校」づくりが着々に入りやすい開かれた空間デザインに図書館は廊下との壁をなくし、気軽

■地域の発展に資する人材の育成を図体的に取り組める人材の育成を図る。 体的に取り組める人材の育成を図る。■高い倫理観を持って、課題解決に主

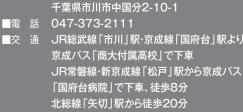
る

ようになっている。

Cake Bar 川道の駅で販売して

る

だき、これ方々、 ようになり、人間的にも成長させてもす。挨拶や言葉遣いもきちんとできる らっています。 人間力も育ててい 茯拶や言葉遣いもきちんとできる本当にありがたいと思っていまい点で、学びの場をつくっていた。 ありがたいと思っていま学びの場をつくっていた々も高校生を育てようと 進学実績だけでなく、 きたいです」



952名 ■牛徒数

■URL https://www.hs.cuc.ac.jp/



高大連携プロジェクトとして、SDGsに関する授業を大学・高校 教員合同で実施

意欲ある生徒は2年次特進選抜に普通科を2クラスに改編

2022年度からは3クラスに分け いた普通科を「特進選抜クラス」